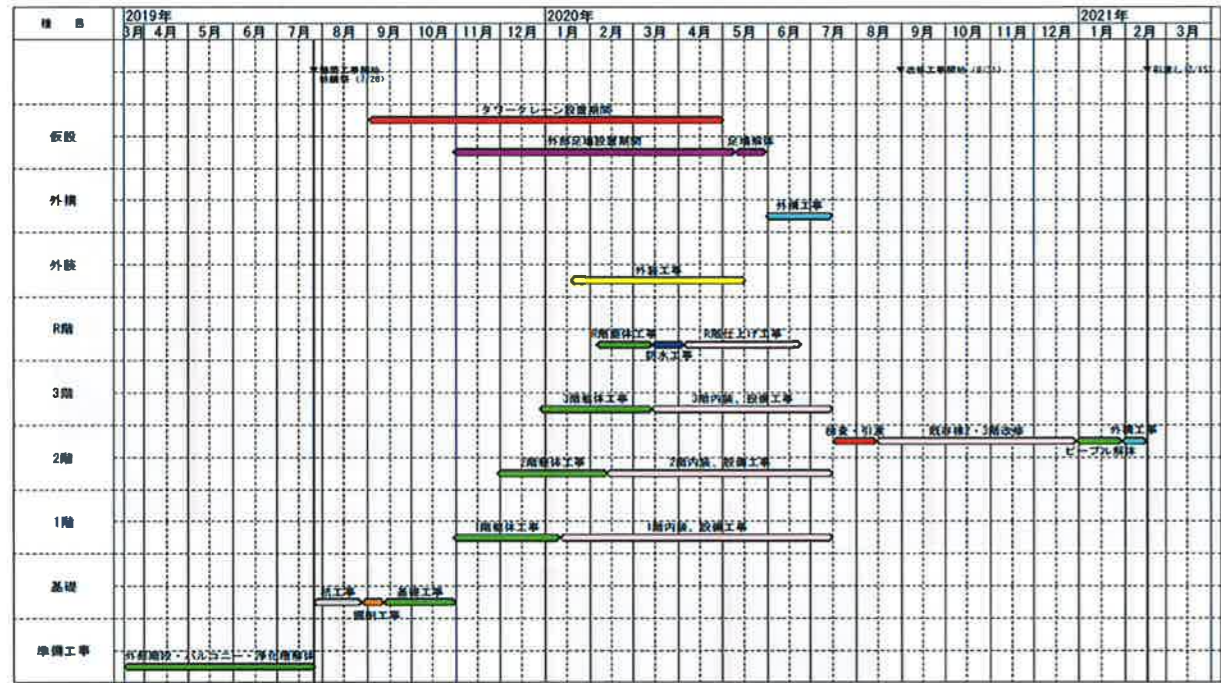


増改築計画 進行中!

現在「準備工事」の真っ最中。予定では8月からいよいよ新棟の建設が始まります。騒音や振動には細心の注意を払って工事を行うのは勿論ですが、近隣の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけすることと存じます。ご諒解賜りますようお願い申し上げます。



今後の工程表です。2019年8月〜2020年7月まで、新棟増築工事を行います。

～ 最善の行動と信頼 ～

医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

- 診療科
精神科・神経科・歯科（要予約）
- 院長
小松 尚也
- 外来診療時間
平日9:00～12:30（月曜日のみ9:30～12:30）
土曜日9:00～12:30（午後は予約制）
- 休診日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）
- 所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
TEL: 047-466-2176 FAX: 047-466-7503
ホームページ: <http://www.chiba-hpon.arena.ne.jp>
- 千葉県認知症疾患医療センター
TEL: 047-496-2255 FAX: 047-496-2256



千葉病院 患者様の権利

- ①個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
- ②安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
- ③職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
- ④精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
- ⑤職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
- ⑥個人情報保護されます。

編集後記

春号に続いて、当院の敷地内禁煙への取り組みを紹介いたしました。当院もかつては、職員、入院患者様ともに喫煙者が多く、病棟の喫煙所も混みあう有様でしたが、健康意識の向上など時勢の流れから、今では喫煙者が0人の病棟も増えてきました。ただ、外来患者様にはまだ喫煙者もおられるので、引き続き健康意識の意識付けに取り組んでまいります。

発行: 医療法人同和会 千葉病院
発行日: 令和元年6月15日
住所: 千葉県船橋市飯山満町2-508
TEL 047-466-2176 Fax 047-466-7503
URL: <http://www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/>

ういんぐ =WING=

千葉病院広報紙 2019. 夏号（第64号） 発行者 医療法人同和会 千葉病院

千葉病院外来のご紹介

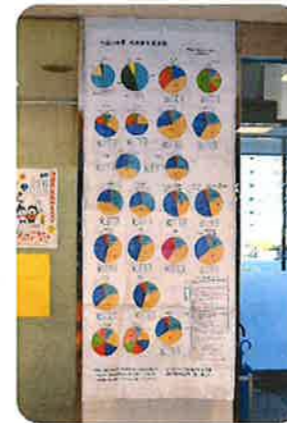
当院の外来では、不安・不眠などをはじめ、さまざまな精神症状を抱えた方々を対象に診療をしております。

- 外来受付時間
平日 7:30 ~ 11:30
診察時間は9:00~（週初めは9:15~）
- 新患受診相談
平日 9:30 ~ 16:00
- 休診日
木曜日・日曜日、祝祭日、年末年始
6月1日〔創立記念日〕
（土曜日は平日体制です）



外来待合室の様子
広くゆったりした椅子にて、待っていただけます。

待ち時間調査



年に一度、6月ごろに外来待ち時間調査を、7月ごろに外来満足度調査をしています。
多くの方に満足と評価を受けておりますが、まだまだ課題も多く、皆様に快適な外来環境を提供できるよう、これからも努力していきたくております。

外来満足度調査集計結果は、外来受付前に掲示し、来院された皆様にご覧いただいております。

歯科診療のご案内

当院では、精神・神経科のほか、歯科の診療も行っております。
予約制になりますので、診療をご希望の方は事前にご連絡ください。
なお、歯科は月・水・金曜日になります。



外来担当医曜日別一覧

外来診療を担当する医師は、曜日によって異なります。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
精神・神経科	須原	松本	小松(院長)	休診日	浅香	横山
	湯浅	安川	谷渕		松田	洪
		岡田	山崎		鈴木	吉川
			佐々木			
認知症	小松		須原			小松

あなたご自身、あるいはあなたのご家族のことで、心が辛くなったり、苦しくなったりしていませんか？ 心の病いを感じた時、そんな時はお早めにお電話ください。

外来では皆様のお電話をお待ちしております。
木曜日・日曜日・祝日以外の
9:30~16:00



千葉病院Drによる医療コラム 第35回

大人の発達障害について その1

千葉病院医師 山崎 史暁

最近、発達障害という言葉がニュースやネットの記事で話題になることが増え、それに伴い自分も発達障害ではないかと、精神科を受診する患者さんも増えています。そこで、発達障害についてその悩みや問題点について簡単に説明していきたいと思います。

一般的に発達障害とは、基本的には生まれ持った脳の機能の偏りです。偏り、という点が重要で、能力的に欠如しているというわけでは必ずしもありません。適切な療育や本人の生活習慣の改善によってある程度苦手なことでも身に着けることは可能です。ただし、苦手なものは苦手なので、得意な人と同じくらいに出来るようになるのは難しいし、また、発達障害がない人と同じことが出来たとしても、それに多大なエネルギーを必要とする人もいます。

次に、発達障害の人に見られる症状をいくつか挙げてみましょう。人との会話が苦手だったり、部屋の片づけをするのが苦手だったり、順番を並ぶのが苦手だったり、果ては食べ物の好き嫌いが多かったり、お酒やギャンブルがやめられなかったりすることも発達障害によるものである場合があります。

こう書いてみると、誰もが自分は発達障害なのでは？と思っても不思議ではありませんね。実際に、こういった症状は誰もが程度当てはまるはずであり、誰もが当てはまるからこそ、本当に発達障害なのか、そしてそれに治療が必要なのか、という点が問題となってくるわけです。そして、その診断、治療において重要になってくるのが、発達障害があることでうつ病や不安障害というような病気を発症しているという、いわゆる二次障害と呼ばれるものです。

次回は、大人の発達障害の二次障害についてもっと具体的に話をしていこうと思います。

敷地内禁煙への取り組み

春号でもお知らせしましたが、昨年(2018年)、健康増進法が改正され、本年7月より、医療機関では原則、「敷地内禁煙」が義務付けられることになりました。千葉病院では、昨年の改正法公布時より、敷地内禁煙に向けたさまざまな取り組みを検討し、実施しております。



写真右上：病棟での講習会
写真右下：職員向けの講習会
写真左上：各国のタバコ。パッケージに「喫煙の害」について表示されている。



健康増進法の改正に伴い、千葉病院では外来は3月から、病棟は7月から完全禁煙となります。そこで、5月8日と5月22日の2日間に分けて、禁煙のための講座を開催しました。

講師に千葉市で田那村内科小児科医院を開業されている田那村雅子先生をお迎えして、入院患者さんと職員向けにそれぞれ行いました。先生は日本禁煙学会認定の禁煙指導医で、患者さんには視覚的にもわかりやすく、職員には今まで以上に理解が深まる新たな知見を提供していただきました。当初は喫煙者を対象としていましたが、事前に打ち合わせをする中で「吸わない人にも知ってもらって、タバコをやめようとしている人のサポーターになって欲しい」と語られ、喫煙者・非喫煙者に関わらず、全員を対象としました。

私はこの事が強く印象に残っています。

やめようとしている人はイライラすることもあるかもしれませんが。そんな時「最初から吸わなきゃいいのに」「イライラしていて近寄りたくない」と感じるよりは「がんばっているんだなあ」と許容する方が、その後の関係がうまく運ぶような気がするのです。先生のお話を聞いて、今後は止めようと努力している人に対し、応援できるようになりたいと思えるようになりました。

講演後に禁煙をはじめたという患者さんがいらっやと報告があり、早くも効果を実感しています。先生も仰ってましたが、禁煙は辛い体験の始まりではなく、健康な身体・美味しい食事・タバコを買うはずだったお金、等の多くのメリットを手に入れるチャンスです。今後も禁煙に関し、病院として取り組んでいきたいと思っています。

看護部長 小山均